

意志ある中小企業のStartup化インキュベート事業

・法人名 株式会社We will

・面的支援プログラムの概要

DX化が遅れている中小企業者に対し、当社開発の業務管理システム「SYNUPS」を活用して事務DX化を支援する。加えて支援先の社内体制整理・DX教育プログラムを提供することで、自律的に事業DXを展開するためのデジタル事務基盤の整備、専門的論点の整理、マインドおよび知識の獲得を支援する。

・プログラム実施場所

静岡県西部遠州地域～愛知県東三河地域

・プログラム実施期間

令和4年10月～令和5年7月

・補助事業実施期間における支援先の募集 有

申し込み先 担当：渥美

URL：https://wewill.jp/project2022_monohojo/


・支援先の募集期限 12月31日

・支援先の募集社数 以下の要件を満たす30者

→支援先の要件：浜松市周辺地域に本社のある、変化意思のある地域経済の基盤たる中堅企業、若手経営者の率いる成長力のある若い中小企業

面的支援プログラムの内容

補助事業で提供する面的支援プログラムの内容

(1) 事務DXの実現 事務完全デジタル化事業計画の策定	(2) 専門家との協業最適化 税理士・社労士・弁護士・弁理士等	(3) 事業DX教育プログラム マインドセット・基礎知識の習得
<p>支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none">事務のデジタル化の入口である「会計」を中心としたバックオフィス領域のデジタル化を実現するとともにSYNUPS^{※1}を導入。SYNUPS^{※1}を通じて業務の可視化～実行計画（Peppol対応計画含む）を策定。次年度以降会計に加え、人事労務、法務、ワークフロー、グループウェア導入と事務の完全デジタル化計画を策定。BPOにより現場事務員と外部専門家との協働体制構築、継続的な変化適応を支援。	<ul style="list-style-type: none">各種外部専門家とのコミュニケーションのデジタル化を支援する ※課題ヒアリングを行った上で、明確になった課題を解決するために必要な土業リソースを確保して紐づける。 例）労務のデジタル化→新たな働き方に対応するための社労士によるテレワーク規定、就業規則等の策定支援Wewillによる電子帳簿保存法およびPeppol、インボイス制度への対応準備	<ul style="list-style-type: none">経営者、管理職層への個別メンタリング経営者、役員向け研修（外部講師活用）担当向け意識改革講座（外部講師活用）ITツールベンダーとの共催セミナー 
<p>想定するアウトカム</p> <ul style="list-style-type: none">会計中心に業務の可視化会計業務のSaaS化・Peppol対応準備外部リソースの活用による可用性確保事務の完全デジタル化に向けた事業計画（翌事業年度実施分）業務管理システムSYNUPS^{※1}の提供	<ul style="list-style-type: none">経営陣への課題ヒアリングまとめ課題解決に向けた土業を組み込んだ体制図具体的な事務DXの実行計画への落とし込み。ソリューションの実行は、タイミング等、各社判断が必要なので個別対応する。本事業では実行までの実行計画策定支援を実施。	<ul style="list-style-type: none">経営者、管理職層へのヒアリングメモ各社の新規事業のリーンキャンパス各社新規事業計画書デモデイの実施DX啓蒙メディアへの記事掲載

SYNUPSとは、業務を相互に可視化することで外部の人材と協業するための協働プラットフォーム

①プロジェクト管理

業務プロセス管理

部門・組織を横断した業務プロセスの可視化

マニュアル化、ナレッジ蓄積

難易度と業務種別による業務分類（4象限12段階）

作業工数管理

誰が、いつ、どのような業務をどれくらいやっているかを可視化

季節変動含めた業務不可を予測

業務ボトルネックの真因はなにかを探る

③集合知プラットフォーム

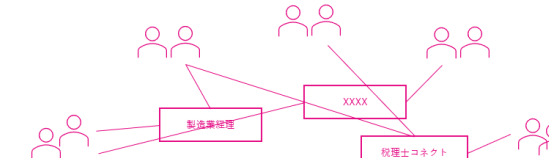
レシピ化されたタスク・プロセスの共有・共有知化

税理士コネクト

IPOコネクト

製造業経理

XXXコネクト



②コミュニケーション&育成

フィードバック

メッセージ

タイムライン

実績の可視化（チームマネジメント）

